

令和2年度

賃貸不動産経営管理士試験

解 答 速 報

2020/11/15 20:30公開予定

問1	2	問11	3	問21	3	問31	3	問41	4
問2	1	問12	1	問22	2	問32	4	問42	3
問3	1	問13	4	問23	3	問33	1	問43	2
問4	1	問14	4	問24	1	問34	2	問44	4
問5	1	問15	1	問25	4	問35	2	問45	3
問6	4	問16	4	問26	3	問36	4	問46	3
問7	4	問17	1	問27	3	問37	3	問47	2
問8	1	問18	2	問28	2	問38	1	問48	3
問9	2	問19	3	問29	3	問39	1	問49	2
問10	3	問20	4	問30	1	問40	4	問50	2

TACが予想する合格ラインは、36±1 点と思われます。(11/15現在)

※ 当解答速報・合格ラインはTAC独自の予想であり、解答及び合格ラインを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合もございます。

※ この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC賃貸不動産経営管理士講座

令和2年度

賃貸不動産経営管理士試験

講

評

TAC賃貸不動産経営管理士講座

中西 伸太郎 講師

- 全体として例年に比べ、難易度が高めであった。過去問の知識は必須だが、それだけでは解答できない問題が多く、付け焼刃の勉強では太刀打ちできなかったのではないかと。過去問をベースに基本事項を押さえた上で、問題の趣旨を理解して答えを選ぶ応用力が求められる内容であった。
- 科目別には、以下のとおりである。
 - ①法令関係(20問)
初出のテーマや民法の改正点、判例が出題され、過去問をベースに民法や借地借家法がきちんと理解できていないと正答できない難問が多かった。
 - ②賃貸住宅制度・賃貸不動産経営管理士(6問)
初出のテーマ(問7・8)や細かい論点(問10)が出題され、例年に比べ難易度が高かった。
 - ③実務関連(12問)
出題範囲、難易度はほぼ例年並みであった。過去問をしっかりと検討できていれば得点できる問題が多かった。
 - ④支援業務(6問)
昨年まで問われていた賃貸物件の企画・立案に関する出題がなかった。税金(問43・44・49)は難問であったが、他は例年並みの難易度であった。
 - ⑤設備・構造等(6問)
初出の論点(問40肢3・4、問41肢1)もあったが、消去法でも答えを出すことができる問題もあり、正解肢がわかりやく、例年に比べ易しかった。

以上